

令和6年度有田市立田鶴小学校 スクールプラン

有田市学校教育方針

認め合い、学び合い、郷土を愛する子供の育成を図る～小中連携を通して～

- 一人一人を生かし、学び続ける力を育てる
- 人とのふれあいを通して、豊かな心を育てる
- たくましく健やかな体を育てる
- 自然や文化とのふれ合いを深め、郷土に対する誇りや愛情を育む

保護者・地域の願い

- 子供の学力を向上させてほしい。
- 明るく楽しい学校にしてほしい。
- 思いやりのある子供に育ててほしい。
- 家庭との連携を密にしてほしい。
- 地域との繋がりを大切にしてほしい。

【校訓】

夢・挑戦

【学校教育目標】

認め合い、学び合い、ともに伸びる子供の育成

- ・よく考え、表現する子（思考・判断・表現）
- ・粘り強くやり抜く子（学びに向かう力）
- ・思いやりのある子（人間性）
- ・たくましく、元気な子（活力・エネルギー）
- ・ふるさとを大切に思う子（地域愛）

前年度の学校評価

- 教育目標達成に向けた学校の取組について概ね肯定的である。
- 基礎学力を高める取組が必要である。
- 家庭学習習慣の定着、個に応じた指導の充実に向けた取組が必要がある。
- 主体的に取り組む子供を育てることが大切である。

児童の実態

- 子供らしい明朗さと快活さがある。
- 意欲的に活動し、奉仕的な作業にも積極的に取り組む。
- 自分の考えをもつことや、意図を明確に伝えることが苦手である。

重点目標

確かな学力の育成

「わかる」「できる」授業の実現と主体的に学習に取り組む態度の育成

豊かな心の育成

お互いを尊重し合う人間関係づくりと主体的な社会参画意識の向上

健やかな体の育成

体力・運動能力の向上と自己の健康と安全を守る力の育成

ふるさとへの愛着を育む

家庭・地域と連携・協力し、地域に対する理解と愛情を育む

具体的な取組

◎授業の充実

- ・評価の基準を明確にした授業
- ・和歌山の授業づくり基礎・基本3か条の徹底
- ・令和の日本型学校教育の推進
- ・ICT機器の効果的な活用

◎家庭学習習慣の定着

- ・家庭学習リーフレットの活用

◎読書活動の推進

「本に親しむ取組」「読書好きにさせる取組」

- 朝学習の計画的な実施

◎安心・安全な関係づくり

- ・挨拶・返事の励行
- ・学習規律の徹底
- ・いじめの未然防止と早期対応

◎特別活動の充実

- ・縦割り活動の充実
- ・クラス目標の設定・ふり返り

○道徳教育の充実

- ・考え、議論する道徳の授業
- ・情報モラル教育の充実
- ・人権教育の充実
- （平和学習・特別支援対象児への理解）

◎健康の保持増進と体力の向上

- ・系統性を意識した体育の授業
- ・「体力アッププラン」を活用した実践
- ・自己の生活習慣を見直すための生活アンケートの実施

○危機管理能力の向上

- ・社会科・総合的な学習を活用した防災学習の充実
- ・避難訓練、交通安全教室等の計画的な実施

◎地域とともにある学校づくり

- ・地域の資源や人材等を活用した学習活動の充実
- ・探究的な総合的な学習の時間の充実
- ・公民館、育成会等、地域の関係機関等との連携促進

◎積極的な情報提供

- ・学校通信（学校だよりや学級通信）等の発行やHP等ICT機器を利用した情報発信

指標

- ・授業がよくわかる（90%以上）
- ・読書冊数（1～4年40冊以上・5・6年30冊以上）
- ・学習内容に応じた家庭学習（90%以上）

- ・学校のきまりを守る（90%以上）
- ・いじめの解消率（100%）
- ・縦割り活動（15回以上）

- ・体力テストが経年比較で昨年度を上回る。
- ・交通ルールを守る等自分の命を守る行動がとれる。（95%以上）
- ・「早寝・早起き・朝ご飯」の徹底。（95%以上）

- ・家庭・地域と連携した取組を進めている（80%以上）
- ・学校の様子がよくわかる。（80%以上）

◎：特に重点的に取り組むこと